



FDD基板 改造位置 プロット図
S=N/S

1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

2. 材料

TFD-310 (コントロールチップに DN8862FAQ を搭載した個体)

3. 改造内容

A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、パターンを切断する。

B. コントロールチップから 34 番ピンへ Disk Change を出力するように設定されているので、設定変更を行う。

「DC」パターンがハンダでショートしてあるので、ハンダを吸い取りオープンとする。

C. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、「DS1」の 0ohm の抵抗を「DS0」へ移設する。

D. コントロールチップから 34 番ピンへ Ready を出力するように設定を行う。

「RDY」パターンへ 1k ohm の抵抗を新設する。

4. 特記事項

A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンアサインに注意すること。

B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。

C. 本 FDD は Ready 信号と Disk Change 信号を同時には出力できない。

PC-9800 シリーズでは Ready 信号が出力可能であれば、実態としては不具合は生じないと考えられるが、

Ready 信号 と Disk Change 信号を同時に必要とするような他機種への応用はできないので、注意すること。

工事名称 PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画

工事
設計図

図面名称 TFD-310 改修図

縮尺 N / S

1

1